

「地方創生経営者フォーラム 伝燈と志命 in 宮城 2024」を開催しました！

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、当行が事務局を務める「みやぎ広域 P P P プラットフォーム」（通称：MAP P）の活動の一環として、事業承継・IPOによる「企業の持続発展」等をテーマとした「地方創生経営者フォーラム 伝燈と志命 in 宮城 2024」を開催いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後もさまざまな取組みを通じて、地方創生の推進に取り組んでまいります。

記

1. 開催概要

名 称	地方創生経営者フォーラム 伝燈と志命 in 宮城 2024
開 催 日 時	2024年2月27日（火）13:30～19:30
会 場	第一部および第二部：当行本店4階大ホール 第三部：江陽グランドホテル
プログラム	・第一部「企業のあり方編」：基調講演・パネルディスカッション テーマ：東証上場企業社長に聞く、持続発展する企業の秘訣とは 登壇者：株式会社オカムラ食品工業 代表取締役社長兼CEO 岡村 恒一 氏 グラントマト株式会社 代表取締役社長 南條 浩 氏 株式会社Macbee Planet 代表取締役社長 千葉 知裕 氏 ・第二部「経営者のあり方編」：パネルディスカッション テーマ：長寿企業経営者の葛藤と知恵 登壇者：株式会社千坂 代表取締役社長 千坂 剛久 氏 今野印刷株式会社 代表取締役社長 橋浦 隆一 氏 マルニ食品株式会社 代表取締役社長 二階堂 玲子 氏 ・第三部：情報交換会
参 加 者	第一部および第二部：270名 第三部：113名
主 催	一般社団法人智慧の 燈 火プロジェクト
共 催	当行（MAP P事務局）、東京海上日動火災保険株式会社
後 援	宮城県商工会連合会、宮城県中小企業団体中央会、仙台商工会議所、 一般社団法人仙台経済同友会、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、 株式会社東京証券取引所／株式会社日本取引所グループ

2. 当日の様子

【会場の様子】



【パネルディスカッションの様子】



3. MAPPの取組みについて

「みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）」の形成（2020年1月31日設立）

地方公共団体と締結している「地方創生に向けた包括連携に関する協定」等に基づく取組みの一環として、民間資金や民間ノウハウの活用に向けた官民の情報共有および対話促進を継続的に展開する場である「みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）」を形成しています。



（関連するSDGs）



SDGs（Sustainable Development Goals）

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以 上

(参考1)

地方創生経営者フォーラム伝燈と志命in宮城2024

第一部:企業のあり方編 基調講演・パネルディスカッション

東証上場企業社長に聞く、

永続発展する企業の秘訣とは!?

本フォーラムでは「永続発展する企業の秘訣」として、事業承継の戦略(親族内承継・親族外承継・M&A・株式上場)についてご紹介します。

第一部の「企業のあり方編」では、他のセミナー等と一線を画す内容として、東京証券取引所のスタンダード市場・グロース市場・

TOKYO PRO Marketの上場企業経営者にお話しいただきますので、奮ってご参加ください。

2020年3月31日 グロース市場上場

株式会社Macbee Planet
代表取締役社長

千葉 知裕 氏

(本社:東京都、社長出身地:宮城県大崎市)

2023年9月27日 スタンダード市場上場

株式会社オカムラ食品工業
代表取締役社長兼CEO

岡村 恒一 氏

(本社:青森県青森市)

2022年2月25日 TOKYO PRO Market上場

グラントマト株式会社
代表取締役社長

南條 浩 氏

(本社:福島県須賀川市)



ファシリテーター

(株)東京証券取引所 上場推進部課長
宇壽山 隼南 氏 (宮城県出身)

2024年

2月27日 火 13:30~15:30
第一部(開場13:00)

開催場所:七十七銀行本店4F大ホール

〒980-8777 宮城県仙台市青葉区中央3-3-20

式次第

13:30~15:30 第一部「企業のあり方編」

基調講演・パネルディスカッション

“東証上場企業社長に聞く、
永続発展する企業の秘訣とは”

15:30~16:00 休憩

16:00~17:30 第二部「経営者のあり方編」

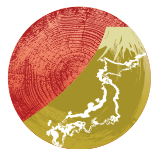
パネルディスカッション

“長寿企業 経営者の葛藤と知恵”

18:00~19:30 情報交換会

(会場:江陽グランドホテル)
宮城県仙台市青葉区本町2-3-1

◀裏面をチェック 第二部「経営者のあり方編」



地方創生経営者フォーラム

伝燈と志命

2024年 2月27日 火 16:00~17:30
第二部 (開場15:30)
開催場所: 七十七銀行本店4F大ホール 〒980-8777 宮城県仙台市青葉区中央3-3-20

第二部: 経営者のあり方編

パネルディスカッション

長寿企業経営者の

葛藤と知恵

今野印刷株式会社
5代目 代表取締役社長

橋浦 隆一 氏

株式会社千坂
6代目 代表取締役社長

千坂 剛久 氏

マルニ食品株式会社
5代目 代表取締役社長

二階堂 玲子 氏

■司会・進行

フリーアナウンサー
石田 紗英子

■コメンテーター

(一社) 智慧の燈火プロジェクト代表理事
(株) チエノワ 代表取締役社長
田中 雅也



■特別登壇

水戸徳川家 第15代当主
徳川 斉正 氏



智慧の燈火プロジェクトとは

日本の宝であり地域の財産である長寿企業、彼らがこれまで語ることのなかった本音を語り、その中に秘められている本質(実体験による知恵)を学び、本気で日々の社業に活かしていく“三本主義”を軸に、知恵の和とご縁の輪が生まれる仕組みづくりを目指しています。



▲プロジェクト概要資料

2023年5月31日(水)開催
地方創生経営者フォーラム伝燈と志命in宮城

【登壇者】

株式会社佐浦 代表取締役社長
13代目 佐浦弘一 氏
湯主一條 代表社員
20代目 一條一平 氏
株式会社タゼン 副社長
19代目 田中善 氏



▲イベントレポート



▲ダイジェスト映像

式次第

13:30~15:30 第一部「企業のあり方編」

基調講演・パネルディスカッション

“東証上場企業に聞く、
持続発展する企業の秘訣とは”

15:30~16:00 休憩

16:00~17:30 第二部「経営者のあり方編」

パネルディスカッション

“長寿企業経営者の葛藤と知恵”

18:00~19:30 情報交換会 (会場: 江陽グランドホテル)
宮城県仙台市青葉区本町2-3-1

【主催】

(一社) 智慧の燈火プロジェクト

【共催】

(株) 七十七銀行(MAPP事務局)、東京海上日動火災保険(株)

【後援】

宮城県商工会連合会、宮城県中小企業団体中央会
仙台商工会議所、(一社) 仙台経済同友会
宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学
(株) 東京証券取引所／(株) 日本取引所グループ

第一部「企業のあり方編」 表面をチェック▶

東京証券取引所の市場構成

東京証券取引所はコンセプトの異なる4つの株式市場を運営

個人投資家も参加可能な市場

プライム 市場

多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）をもち、より高いガバナンス水準を備える企業向けの市場

スタンダード 市場

公開された市場における投資対象として一定の時価総額（流動性）をもち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備える企業向けの市場

グロース 市場

高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が行われ一定の市場評価が得られる企業向けの市場

プロ投資家向け

TOKYO
PRO
Market

一般投資家からの資金調達ができない反面、上場のハードルは低い

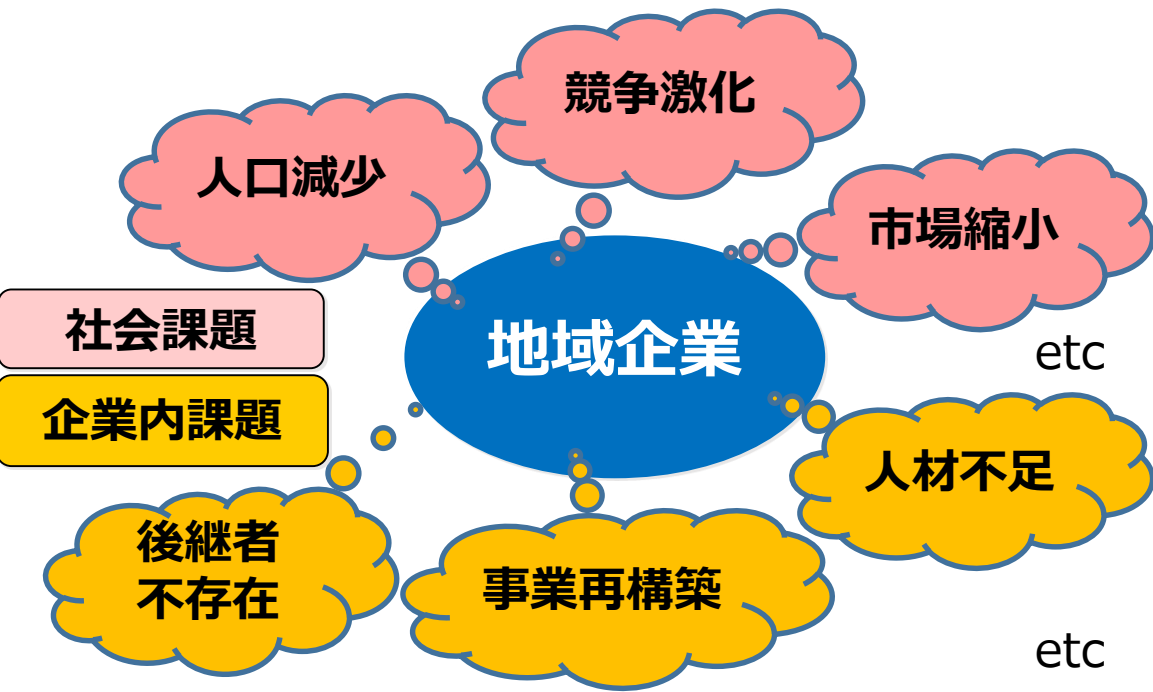
	スタンダード	グロース	TOKYO PRO Market
上場基準	・高い成長性：求められない ・株主数：400人以上 ・流通株式時価総額：10億円以上 ・利益の額：経常利益1億円以上	・高い成長性：求められる ・株主数：150人以上 ・流通株式時価総額：5億円以上 ・利益の額：なし	・高い成長性：求められない ・株主数：制限なし ・流通株式時価総額：制限なし ・利益の額：なし
期間コスト	・準備期間：3～5年程度 ・監査期間：2年 ・コスト：1億円超		・準備期間：2年程度 ・監査期間：1年 ・コスト：3,000～4,000万円
開示 内部統制	・四半期開示：必須 ・内部統制報告書：必須		・四半期開示：任意 ・内部統制報告書：任意
上場手続 その他	・株式市況に左右される ・証券会社が指導、東証が審査 ・上場後はサポートなし		・株式市況に左右されない ・事業の新規性が求められない ・J-Adviserが指導、東証が審査 ・上場後もJ-Adviserが伴走
株式買付	・一般投資家の参加可能		・プロ投資家に限定（流動性が低い）

IPO時の各種指標の規模比較（2023年）

上段：最大値 中段：中央値 下段：最小値	売上高	経常利益	純資産の額	初値時価総額	IPO時の ファイナンス規模
	2,457億円 — 1,060億円	559億円 419億円 279億円	2,065億円 1,837億円 1,609億円	4,875億円 4,015億円 3,156億円	1,245億円 1,070億円 896億円
	835億円 71億円 6億円	233億円 7億円 1億円	1,454億円 34億円 1億円	1,843億円 100億円 27億円	572億円 20億円 5億円
	461億円 25億円 0億円	56億円 1億円 ▲40億円	210億円 11億円 0億円	1,286億円 130億円 20億円	552億円 24億円 3億円
TOKYO PRO Market	最大値 253億円 中央値 15億円 最小値 3億円	19億円 1億円 ▲0億円	114億円 4億円 1億円	112億円 12億円 2億円	—

注1：IPO時のファイナンス規模＝公募＋売出し（O A含む）
なお、TOKYO PRO MarketのIPO時のファイナンス規模は、特定投資家向け取得勧誘
または特定投資家向け売付勧誘等をさすが、事例なし

注2：1億円未満四捨五入 注3：プライム市場は2例のみのため、中央値は記載していない



東北地域の最近の上場実績

No.	会社名 上場日 所在地	上場直前期業績 (百万円) 上段：売上 下段：経常利益
1	ケーイーティ 2023/11/22 福島県西白河郡	(2023年3月期) 408 130
2	manaby 2022/4/21 宮城県仙台市	(2021年9月期) 529 71
3	グラントマト 2022/2/25 福島県須賀川市	(2021年8月期) 11,786 166

事業承継の方法

- ①親族内承継
 - ②親族外承継
 - ③M&A
 - ④**IPO (TOKYO PRO Marketの活用)**
- J-Adviserが伴走支援**

地域企業の事業継続に向けた
新たな手段として注目度UP